

手作りメトロノームを作ってみよう



対象・・・小5「ふりこの動き」

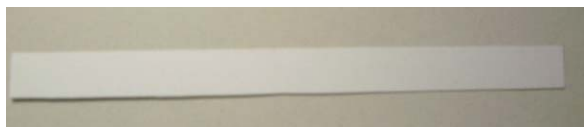
特色・・・音楽の授業などで使われるメトロノームには、ふりが利用されています。ふりことは、糸におもりをつけて横に放すと、おもりは行ったり来たりをくり返すものです。その性質を生かして、おもりの位置を上下してテンポを変えることができます。メトロノームを作って、曲に合わせて、演奏したりしてみましよう。

<準備するもの>

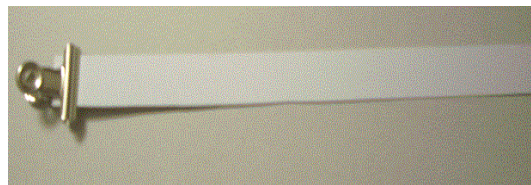
- 工作用紙（長さ 25 cm，幅 2 cm）
- 目玉クリップ
- ペットボトル（2リットル）
- はさみ
- フェライト磁石
- 竹ひご（15 cmくらい）
- ビニルテープ

<作り方>

① 工作用紙を長さ 25 cm，幅 2 cmに切ります。



② 工作用紙の先に目玉クリップをつけます。



③ ペットボトルに水を 1.5 リットルほど入れます。



④ 竹ひごをペットボトルのふたにテープでつけます。※しっかり固定しましょう。



⑤ 竹ひごに目玉クリップを通します。

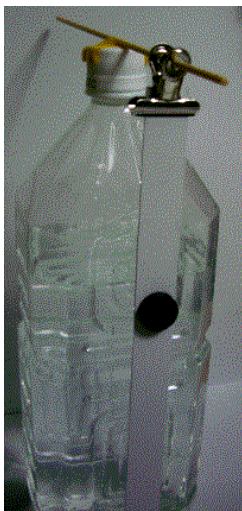


⑥ フェライト磁石を工作用紙の両面につけて完成です。



<使い方>

フェライト磁石の位置を変えて工作用紙を横にふってみましょう。フェライト磁石の位置を上下して、テンポを変えることができます。手作りメトロノームで、曲に合わせて演奏したりしましょう。



振り子の長さによって1往復する時間がどう変わるか試してみる。



音楽に合わせてメトロノームを操作してみる。